

事業完了報告書（実行団体）

| | |
|----------|----------------------|
| 事業名: | みんなの働きたいを稼ぐ農福連携で実現 |
| 資金分配団体名: | プラスソーシャルインベストメント株式会社 |
| 実行団体名: | 一般社団法人 Shake Hands |
| 実施時期: | 2021年6月～2022年3月 |
| 事業対象地域: | 和歌山県内 |
| 事業対象者: | 就労希望の精神障害者や重度障害者 |

Version 3.2
日付: 2022年5月20日

I. 事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業実施概要 | <p>①既存の1,2号店に加え重度障害者を対象とした新たな農園「3号店」を開設する 3号店では労働が困難な重度障害者と農業するための、ハウス畑、作業場、通所型生活介護施設を整備し、工賃を月額10,000円目標。重度障害者が作業できるハウス畑と、機械化でネギの出荷が安全に行える作業場を設ける</p> <p>②3号店のサポート業務 3号店業務のサポートを1号店利用者が担う。この新しい業務により1号店利用者の中で新たな職能を有した人材を生み出すことで、既存の業務を新規就労者へシェアする</p> <p>③新たな葉物野菜栽培 ネギで実績を積んだ他期作型モデルを応用し雇用増と給与増。葉物野菜は提携先である地元スーパーが全量買い上げ予定</p> <p>④既存の1,2号店に加え重度障害者を対象とした新たな農園「3号店」を開設する 3号店では労働が困難な重度障害者と農業するための、ハウス畑、作業場、通所型生活介護施設を整備し、工賃を月額10,000円目標。重度障害者が作業できるハウス畑と、機械化でネギの出荷が安全に行える作業場を設ける。</p> |
|--------|--|

II. 課題・事業設計の振り返り

| | |
|-------------------|---|
| 課題設定、事業設計に関する振り返り | 新型コロナウイルスの影響の長期化や蔓延防止等重点措置に伴い、一時は回復傾向にあった出荷量が再度落ち込み安定することがなかった。そのため出荷できず大量の野菜が廃棄処分になった。今回導入した加工機を活用して自社内での六次産業化を進め商品化や販売先をBtoBからBtoCも含めて活動していく必要性を改めて感じた。 |
|-------------------|---|

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

| ①受益者 | ②課題 | ③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット） | ④指標 | ⑤目標値・目標状態 | ⑥結果 | ⑦考察 |
|------|------|--|---------|-----------|------------------|---|
| 障害者 | 就業困難 | 新型コロナウイルスの影響により収入を得る事が困難な障がい者が働く場所を得る。 | 新たな雇用人数 | 12名 | 新たに雇用した人数 11名 | 重度障がい者7名、精神障がい者3名、知的障がい者1名 計11名が農業に携わり収入を得る事ができた。 |

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

| | |
|----------------|--|
| 事業実施以降に目標とする状況 | <p>助成終了後も自立した経営を継続するため、以下の状態を実現する</p> <p>①精神障害者の新規雇用を12人+工賃を得る生活介護利用者を10人。1号店では定員50名で安定させ、3号店へは1年目で5人、2年目で5人とし合計10名（制度上は20名定員が可能だが、施設が小規模なため10名を目標）</p> <p>②1号店2号店利用者の給与をコロナ禍前の水準へ引き上げる（2021年2月比約20%増）</p> <p>③3号店利用者の工賃を月額1万円</p> |
| 考察等 | 100%数値目標の達成には至らなかったが、引き続き取り組みを継続していく。その他、就労支援を行い4名の障がい者を一般企業への就職に結び付ける事ができた。 |

V. 活動

| 活動 | 進捗 | 概要 |
|---|------|---------|
| 通所施設改修 | 計画通り | 想定通り実施。 |
| 農地取得、ハウス建設、畑整備 | 計画通り | 想定通り実施。 |
| 行政への施設指定取得申請・許可取得 | 計画通り | 想定通り実施。 |
| 関係機関へのアプローチ（行政・学校・相談支援事業所・就労移行支援等の他事業所） | 計画通り | 想定通り実施。 |
| 3号店見学の受け入れ開始 | 計画通り | 想定通り実施。 |
| 3号店利用開始（福祉サービスの提供） | 計画通り | 想定通り実施。 |
| ハウス畑とネギ出荷ユニットの稼働 | 計画通り | 想定通り実施。 |
| 小松菜畑の稼働 | 計画通り | 想定通り実施。 |

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

| | |
|---------------------|------|
| 想定外のアウトカム、活動、波及効果など | 特になし |
|---------------------|------|

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

| | |
|-----------|--|
| 課題を取り巻く変化 | 目標の売上や生産量に向けて多品目栽培への展開を実施し圃場面積の拡大もしているが、長期的なコロナ禍により栽培した野菜の新たな出荷ルートの確保が難しい。 |
|-----------|--|

VIII. 他団体との連携

| 連携先 | 実施内容・結果 |
|---------|---|
| 福祉関係機関等 | 支援学校、相談支援事業所、地域包括支援センター、障がい当事者等を含む情報や意見交換会を実施し、施設づくりにニーズを取り入れた。 |

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

| | | 計画額 | 実績額 | 執行率 |
|------|-------|------------|------------|---------|
| 事業費 | 直接事業費 | 39,970,000 | 40,570,000 | 101.5% |
| | 管理的経費 | 0 | 0 | #DIV/0! |
| 合計 | | 39,970,000 | 40,570,000 | 101.5% |
| 補足説明 | | 特になし | | |

X. 広報実績

| 広報内容 | 内容 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等) | なし |
| 2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの | なし |
| 3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法 (事例) | 助成金で購入したもののへの貼付 |
| 4.報告書等 | なし |

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

| ①規程類※の整備実績 | 状況 | 内容 |
|---|---|----|
| 1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。 | 完了 | |
| 2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。 | | |
| 3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。 | 未公開 | |
| 4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。 | 変更はなかった | |
| ②ガバナンス・コンプライアンス体制 | 状況 | 内容 |
| 1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。 | はい | |
| 2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。 | はい | |
| 3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。 | はい | |
| 4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。 | はい | |
| 5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。 | はい | |
| 6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可) | <input type="checkbox"/> 外部監査 <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 実施予定はない | |
| 7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。 | いいえ | |
| 8.内部通報制度は整備されていますか。 | はい | |